

「福祉サービス第三者評価」等を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	八王子美山学園	受審(実施)年度 (※)	令和5年度	施設番号	41 - 0015
-----	---------	-----------------	-------	------	-----------

※第三者評価または利用者調査実施の年度

項目	評価結果に基づく現状分析 (令和5年度)	改善計画 (令和5年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和6年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定が あった場合の実施状況 (令和7年4月30日時点)
副主任の使命・位置づけをさらに明確化して、施設全体のサービス品質のアップにつなげることについて	副主任制度を創設し、組織表、分担表、プロジェクト委員会対応表にて役割を明示しているが、この制度が期待通りに機能しているか職員アンケートにて疑問の声が寄せられた。副主任制度が十分効果が発揮できていない。	7名の副主任が組織として、しっかり機能するよう副主任には行事、委員会、各部署の責任ある業務等を任せ、責任ある立場としてリーダーシップが発揮できるよう取り組んでいきます。また、副主任の役割については上司はもちろん全職員が使命・位置づけが分かるように引き続き書面での明示と説明をしていきます。	1 実施済み 2 実施予定 (令和7年3月ごろ) 具体的には以下のとおりです。	1 実施済み (令和7年3月) 具体的には以下のとおりです。 複数いる副主任には行事、委員会、各部署の責任ある業務等を任せリーダーシップを発揮し活躍しました。また全職員が分かるように書面で明示し説明しました。
利用者の高齢化と機能低下が進む現状に新たな視点をもった取り組みについて	利用者の平均利用期間は14年と長く高齢化に伴う支援度も高くなっています。職員の介護技術の向上と共に、機械浴導入等ハード面整備も必要とされる。また障害者施設から本人にあった高齢者施設への移行も検討していく必要がある。	高齢化が進む中、美山学園での生活希望利用者には、できる限り支援できるように、1つの対応策として令和6年度から機械浴導入を実施します。美山学園の生活にこだわるのではなく利用者本人の状況に合った、より良い生活の場への移行も家族と一緒に考え対応していきます。	1 実施済み 2 実施予定 (令和7年3月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 機械浴については令和6年4月導入済み	1 実施済み (令和7年3月) 具体的には以下のとおりです。 利用者の高齢化に伴い令和6年4月に機械浴を導入しました。利用者の状況に合わせて使用しています。高齢者施設移行は家族、関係機関等と連携し1名移行しました。
各職員の特性、強み・弱みを整理し、これを活用した人材育成計画の策定について	人事考課制度を昇進・昇格につなげる仕組みはできているが、一方で職員アンケートより人事考課の内容が一部不明との声があがつた。今後は更に丁寧な説明が必要である。	人材育成については職員の強み・弱みを上司が把握すると共に、定期的に実施する面談で職員一人ひとりの意向をしっかり聞き人事考課制度に則り個々の人材育成計画を策定していきます。考課内容については丁寧な説明を引き続き実施していきます。また職員全体の声を聞き内容変更も柔軟に検討、実施していきます。	1 実施済み 2 実施予定 (令和7年3月ごろ) 具体的には以下のとおりです。	1 実施済み (令和7年3月) 具体的には以下のとおりです。 人事考課面談を中心上司が各職員の強み、弱みを含めて状況を把握しました。また各職員の人事考課結果より上司が指導、アドバイスを実施しました。

※この様式は、「東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。